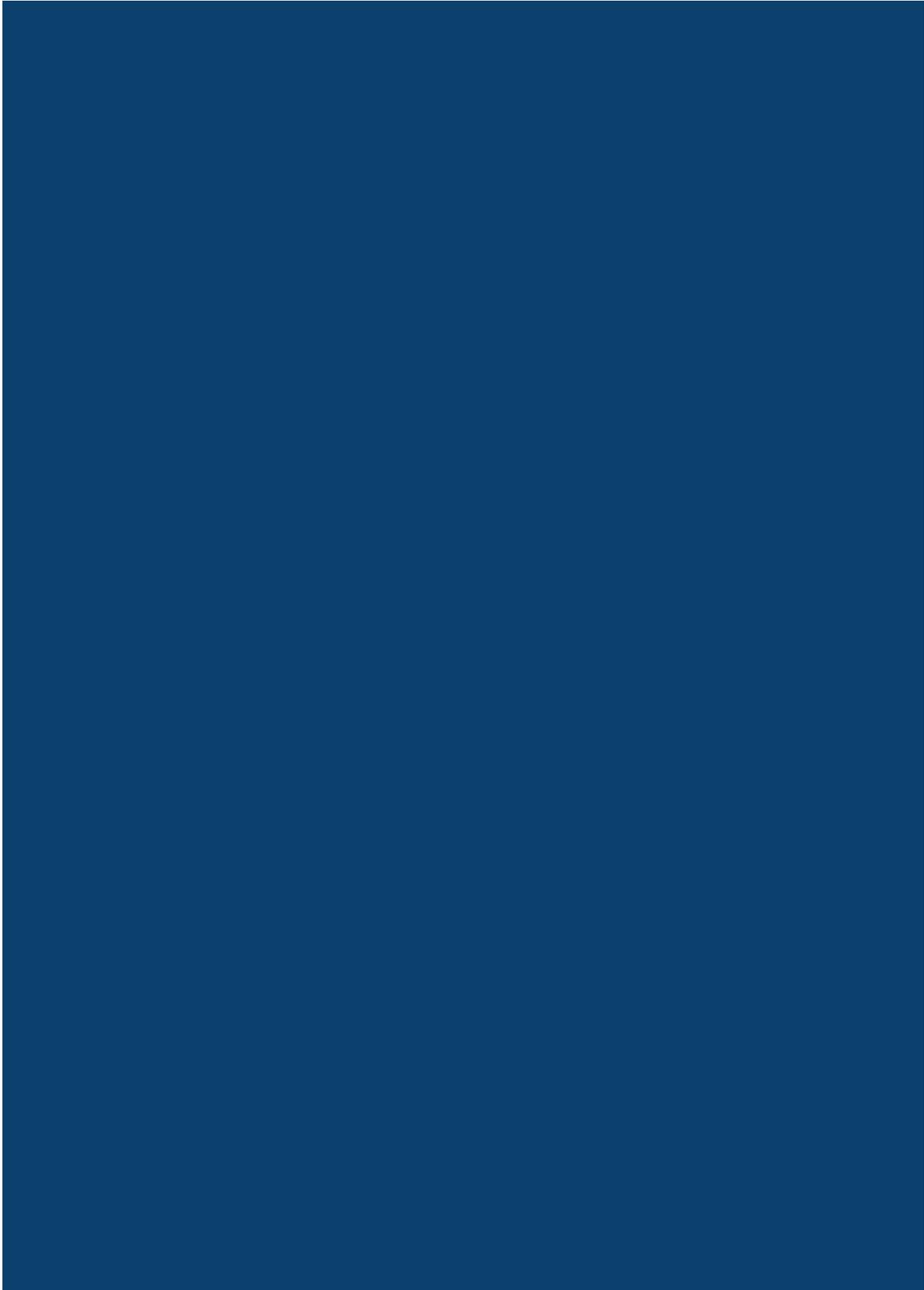




ATENジャパン株式会社/技術部技術サポート課 2021-04-12版

# VE8900シリーズ / 導入ガイド

---



# 目次

---

## VE8900シリーズ / 導入ガイド

### 目次

【必ずお読みください】 ご注意

改定

### 概要(セットアップの流れ)

セットアップの流れ

ネットワークスイッチを使用しない構成

ネットワークスイッチとVE89xxを接続する構成

電源投入

ネットワークからのログイン

カスケード接続時のPC接続方法

スイッチングハブ利用時(スター型接続)のPC接続方法

PCのIPアドレス設定について

PCのIPアドレス設定例

VE89xxシリーズのバージョン確認

ネットワークでのペアリング設定

ペアリングとは

各種機能設定

送受信機間の接続設定

モニター左上のメニュー画面(OSD)の表示設定

ボタン操作ロック機能

EDIDモード変更

画質変更

高速切替

USBのビデオパス

増設・復旧(機器交換)をする手順

VE89xxを増設する場合

ビデオウォール利用環境の場合

VE89xxを交換する場合

ES0152と組み合わせて使用する場合の設定

DMS(Device Management Service)機能を使用する

### FAQ

簡単にブラウザでVE89xxにアクセスしたい / VE89xxのIPアドレスを忘れた

LANケーブルはどのようなケーブルで通信を確認しているか

STPケーブルを使用する上で注意する点はあるか

Cat7ケーブルは対応しているか

ネットワーク上で、デバイスが認識されない

ブラウザのプレビュー画面がずれる

本体初期化の方法

タッチパネルを5台以上認識できない

特定のモニターが「Out of Range」と表示される

利用できない接続方法

その他FAQについて

## 【必ずお読みください】 ご注意

- 当ガイドは「VE89xxシリーズを最低限セットアップして使用開始するまでのガイド」として作成しています
- 手順の詳細を確認する場合や、当ガイドと実機の動作が異なる場合は、最新の製品マニュアルをご参照ください
- 弊社製のProAV製品やマニュアルは、予告なく仕様変更が行われます
- 弊社の技術サポートの提供は最新版のファームウェアでのご利用が前提条件です。過去バージョンで発生する不具合はサポート外のためご注意ください
- 過去バージョンの機器を使用している発生している問題・障害に対してはまず最新版へアップグレードしてからご確認ください
  - 過去のバージョンで発生している不具合に対しては、サポート外となります
  - 同様に既存のProAVに増設する時も必ず各機器を最新版にアップグレードしてください
  - **使用するデバイスが最新バージョン同士でない組み合わせでは、認識・検出されない、画面が表示できない、操作ができないなど予期しない不具合の原因となることがあります。そのため構築・増設する前には必ずすべてのデバイスを最新バージョンに更新してから、構築してください**
- 仕様変更によって、最新のハードウェアでは過去バージョンのファームウェアに書き換えできない場合がございます
  - 強制的にダウングレードできても動作しないおそれがございます。弊社では同製品内の過去互換性についてはサポート外のため、ご理解いただきますようお願い申し上げます
- ご利用から3年以上経過した製品については、仕様変更に伴い最新のファームウェアはご利用いただけられない可能性がございます。保証期間を満了した旧バージョンのハードウェアに対し、現行バージョン同等に使用するための技術サポートは提供できません。
  - 保証期間が満了したハードウェアで相性問題などの不具合が発生した場合、使用しているバージョンに近いバージョンへアップグレードできるかお試しください。(例・v1.1.102を使用していればv1.1.103に上げられるかお試しください)その後、アップグレードできるバージョンまで更新し、不具合が解消できるかお試しください
  - 改善が見られなかった場合は、製品リプレイスでの解決による方法をご検討いただきますようお願い申し上げます。
- 製品のファームウェアは製造時点では最新バージョンにて製造されていますが、物流などの都合によりさらに新しいバージョンが公開されていることがあります。利用の際は最新バージョンにアップグレードしてご利用ください
- 本製品は、すべての接続機器、ネットワーク機器の動作を保証するものではありません。ご使用の際には、事前の段階で十分に評価していただき、お客様の責任においてご利用いただきますようお願い致します。最終システムに対しても本機器の機能が満足するかどうかを事前に評価などにてご確認くださいませようお願いします

## 改定

---

- 2019年09月12日：初版公開
- 2020年02月13日：補足加筆
- 2021年04月12日：デザインフォーマット変更、VE8952販売開始に伴う加筆修正・アップデート

# 概要(セットアップの流れ)

---

- ユーザーマニュアルから抜粋した簡易的に製品をセットアップするまでのガイドです。
- またマニュアル内では便宜上、次のように表記します
  - 「VE8950TとVE8900T、VE8952T」をVE89xxT
  - 「VE8950RとVE8900R、VE8952R」をVE89xxR
  - 製品シリーズ全体を指す場合には「VE89xx」とします
- このガイドでは、ネットワークスイッチを使用しない、VE89xx操作方法のベースに紹介しています
- ネットワークスイッチを使用するには、「VE89シリーズネットワーク構築ガイド」を必ずご参照ください
  - VE89xxはネットワークに関する知見が必要となる製品です
  - スイッチングハブを利用したネットワークで発生した障害はサポート外となります
- 予告なく仕様変更などによって当ガイドとは異なる詳細の設定などへ変更されるおそれがあります

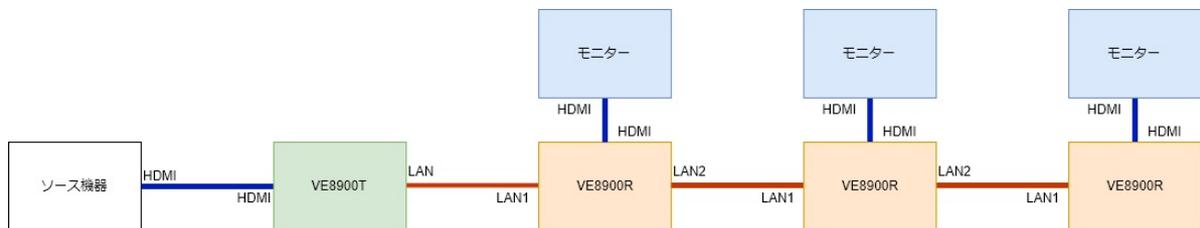
# セットアップの流れ

---

1. LANケーブル、HDMIケーブルを結線
2. 電源投入順番
3. ネットワークからのログイン
4. VE89xxシリーズのバージョン確認
5. ネットワークでのペアリング設定
6. 各種機能設定
7. 完了
8. 増設、復旧(機器交換)の場合

# ネットワークスイッチを使用しない構成

- LANケーブル、HDMIケーブルの結線方法を紹介します
- VE89xx、そして接続するデバイスがすべて電源OFFの状態ですべてLANケーブル、HDMIケーブル、ACアダプターをつないでください。
  - ACアダプターはこの時点ではコンセントに挿さないでください
  - LANケーブルはストレート配線のものをご用意ください
- VE89xxR(レシーバー)をVE89xxTまたはフルマネージドL2スイッチに接続する場合は「LAN1」に接続してください。カスケード接続する場合は以下の図例のようにケーブル類をつないでください
  - 以下は本体をカスケード接続する場合の構成例となります。
    - VE8952RとVE8952Tの組み合わせでPoE供給はできません。必ずそれぞれのユニットにACアダプターを使って給電をおこなってください。または、カスケード接続はせず、PoE対応のフルマネージドL2スイッチにスター型接続で機器をつなげて給電してください



# ネットワークスイッチとVE89xxを接続する構成

- 本製品は必要スペックを満たすネットワークスイッチの導入と適切な設定が必要な製品です。
- ネットワークスイッチを使用してVE89xxを利用するにあたり、別冊子の「VE89シリーズネットワーク構築ガイド」を必ずご参照ください。
- 構築は弊社で公開している技術仕様に基づき、適切な環境設計をお願いいたします。
  - 冊子を読まず、知見もない状態で製品選定、ネットワーク設計、設置した場合に発生した障害に対してサポート外となります
  - スイッチを適切な設定せずに使用した場合、発生した障害はサポート外となります。お客様にて対処していただきますようお願いいたします
  - 構築ガイドに記載されている仕様に満たないネットワークスイッチを使用した場合の障害も同様に、サポート外となります
- ネットワークスイッチを1台であれば、弊社製ネットワークスイッチ「ES0152」「ES0152P」で、簡単な設定だけですぐにお使いいただけます。設定詳細は「VE89シリーズネットワーク構築ガイド」をご参照ください
- ネットワークスイッチを2台以上カスケード使用して構築して使用方法は、お客様のネットワーク設計、構築知識が必須となります。
- **ATENジャパンでは、映像配信のネットワーク設計、構築、障害時の保守(システムインテグレーション)は行っておりません。製品と共にネットワーク設計などのサービスを希望されるお客様は弊社販売代理店様やネットワークインテグレーター様へご相談いただきますようお願い申し上げます。**
- VE89xxは専用のネットワークで動作することを前提に設計されています。既存のOA機器が接続されているネットワーク機器に接続しないでください。ネットワーク障害や機器の予期しない動作不良の原因となるおそれがあります。
- VE89xxはスイッチングハブを使用した構成を想定して設計しておりません。使用した場合に画面表示できないケースがあり、サポート外となります。VE89シリーズネットワーク構築ガイドにて記載している、仕様を満たすフルマネージドスイッチまたはL3スイッチをご用意の上、ご利用ください。
- 別冊子を確認いただいても設計や敷設方法が分からない場合はネットワーク管理者様、ネットワークインテグレーター様などへご相談ください

# 電源投入

---

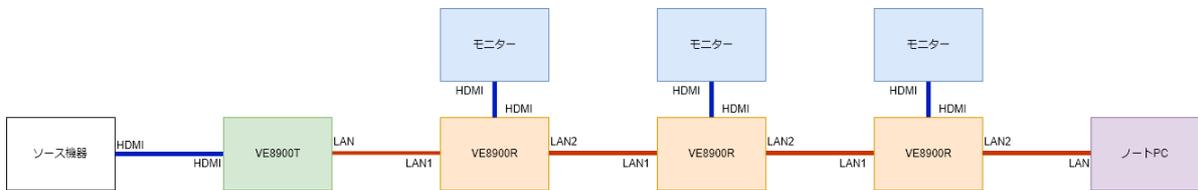
- 電源投入の際は、
  1. モニター(プロジェクターなどのシンク機器)
  2. フルマネージドネットワークスイッチ
  3. VE89xxR
  4. VE89xxT
  5. ソース機器
  - の順番で電源を入れてください。
    - この順番はモニターの解像度情報(EDID)を接続する機器に同期させるためです。適切な電源投入ではない場合、画面内の黒帯表示や特定の解像度を選択できないなどの制限がございます
    - ネットワークの接続状況などによって接続が安定していない場合、VE89xxTが再起動することもあります。これは正しい挙動となります。
    - **VE89xxは電源投入から映像伝送までに通常、約2分かかります。また、ネットワークスイッチと同時にVE89xxを起動した場合は、表示までに3分以上かかる場合がございます。起動後からのスイッチ側のルーティング更新などによるためです。**

# ネットワークからのログイン

- 設定用のWindows PCを1台とLANケーブル(ストレート配線)をご用意ください
- また、製品ページより専用デバイス検索性ユーティリティアプリ「IP installer」をダウンロードしてください
  - アプリは弊社ホームページ内の各製品ページにある「サポートとダウンロード」からご利用頂けます
  - 設定用PCは一時的な利用のみで、常時接続する必要はありません

## カスケード接続時のPC接続方法

- 下図のようにVE89xxRをカスケード接続の最終段にある「LAN2」へLANケーブルを接続し、対向側にPCを接続してください



## スイッチングハブ利用時(スター型接続)のPC接続方法

- 任意のポートにLANケーブル、PCを接続してください

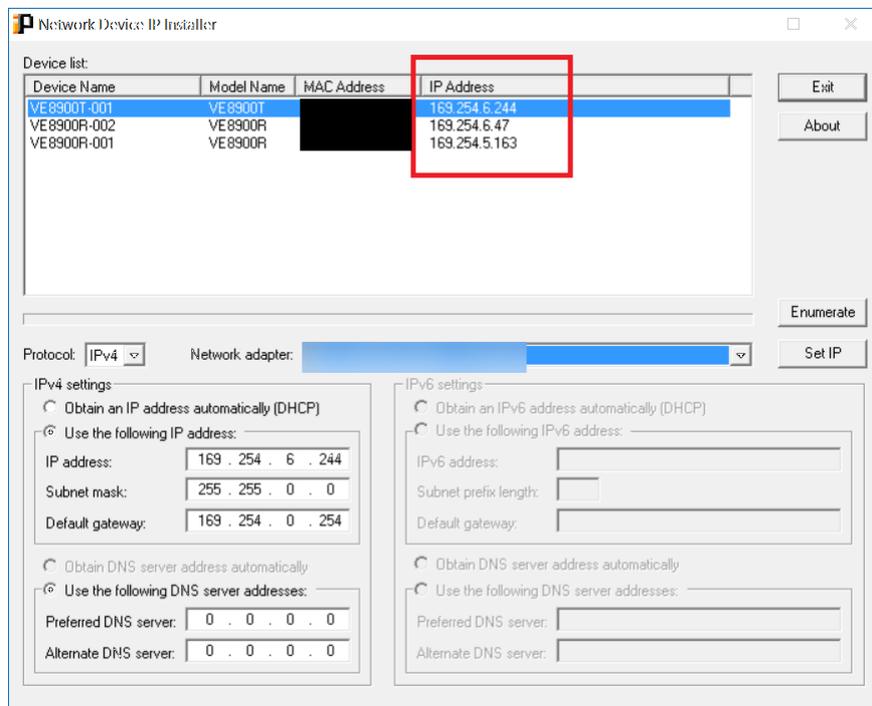
### PCのIPアドレス設定について

- VE89xxは工場出荷設定にて「169.254.xxx.xxx / 255.255.0.0」で自動的にIPアドレスが付与されています
  - xxxは0~255の数字がランダムで入ります。
  - (自動IPアドレス機能はDHCPによるIP付与ではありませんため、起動するたび自動的に変わることがございます)
- PCも同セグメントに合わせるため以下のようなIPアドレスを手動で設定してください。

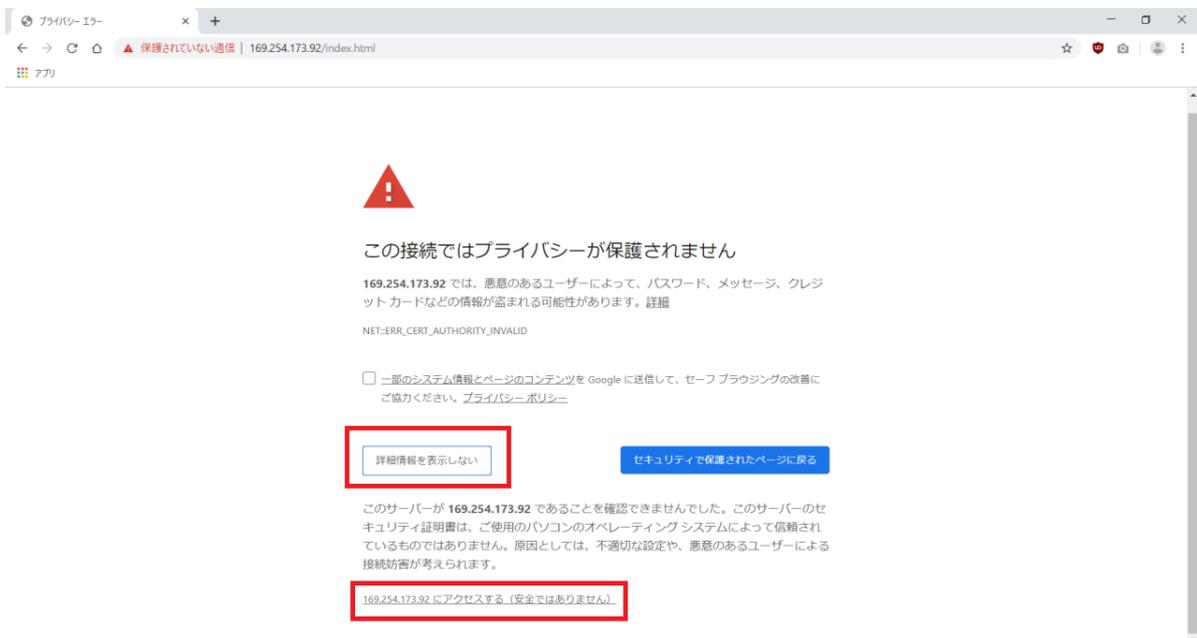
### PCのIPアドレス設定例

(IPアドレス)	169.254.10.10 アドレスが重複した場合は別のアドレスに設定してください
(サブネットマスク)	255.255.0.0
(デフォルトゲートウェイ)	なし

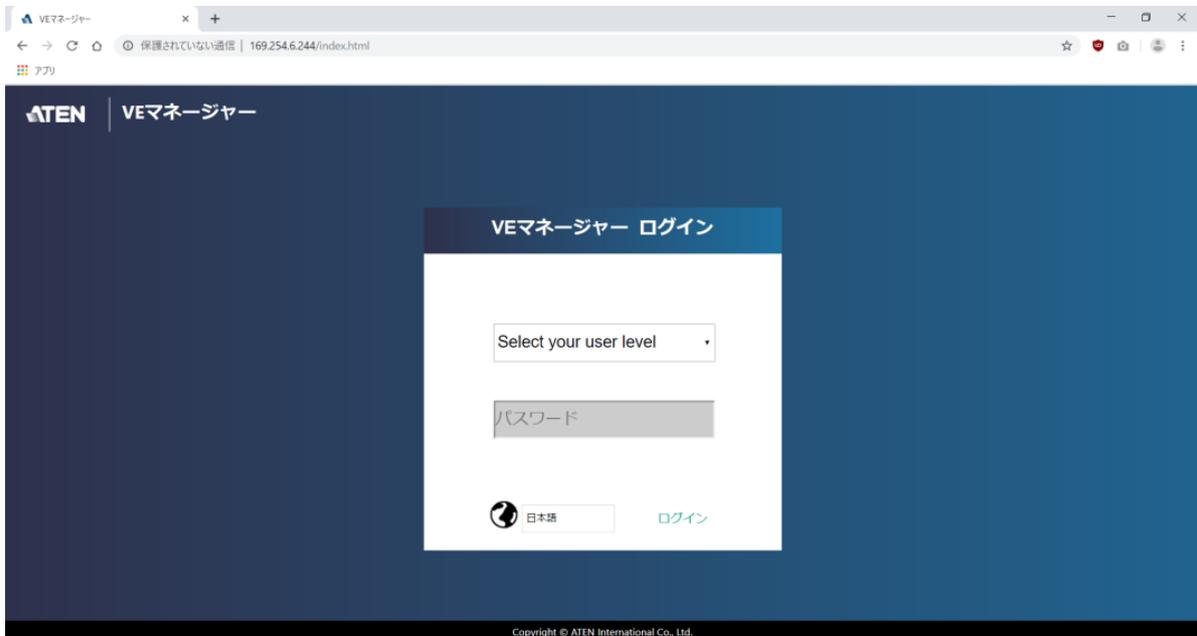
- IPアドレスが設定完了したら、「IPInstaller」を起動して、接続している機器がすべてネットワーク上に存在しているかご確認ください。
  - IPInstallerはVE89xxの製品ページの「サポートとダウンロード」で無償公開している弊社製品用のユーティリティツールです
  - もし、電源を投入してから2分以上経過してもネットワーク上に特定のデバイスが存在していない場合は、当ガイド後半のFAQをご参照ください
  - そして、赤枠で表示しているIPアドレスが別々の値になっていることを確認してください。
  - もし、同じIPアドレスになっている場合は、不具合の原因となります。重複している機器のIPアドレスを変更してください。



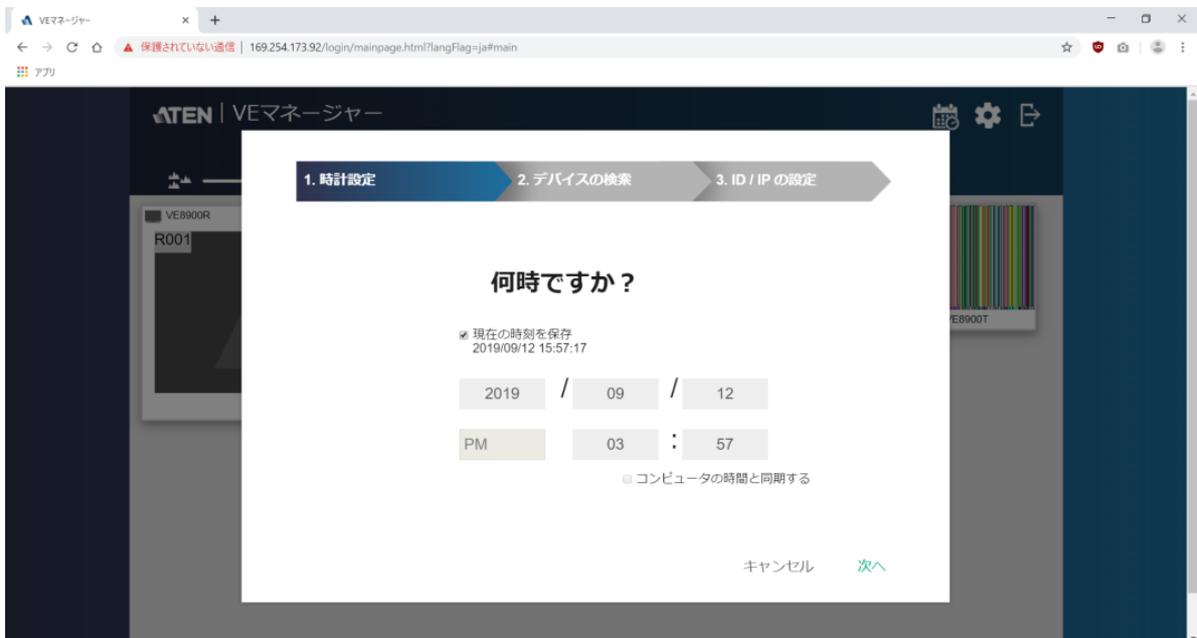
- webブラウザを開き、確認したIPアドレスのいずれかを入力します
  - 例：上図であれば「<https://169.254.6.244>」とブラウザのアドレスバーに入力してメニューページにアクセスします
- Chromeなどでは以下のような警告画面が表示されます。理由としては強固なセキュリティが掛かっていないことからの警告であり、製品としては正しい動作となります。
  - 「詳細設定」をクリックします



- 「xxx.xxx.xxx.xxxにアクセスする(安全ではありません)」をクリックすると、ログイン画面に進みます

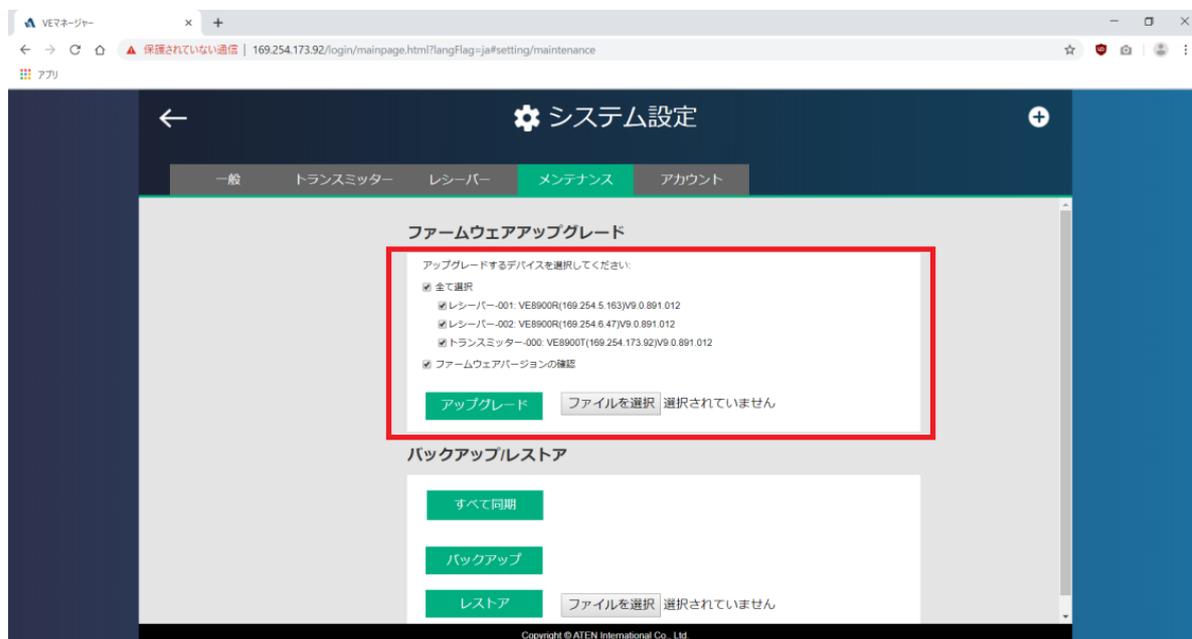


- ブラウザにアクセス後、「Select Your User Level」で「administrator」を選択し、パスワードに「password」と入力します
- 「ログイン」ボタンをクリックします
- 初期アクセス時にはパスワード変更を求められます。任意のパスワードに変更してください
- 初期アクセス時には以下の時刻確認のポップアップは表示しますが、ここでは一度「キャンセル」を押します。



# VE89xxシリーズのバージョン確認

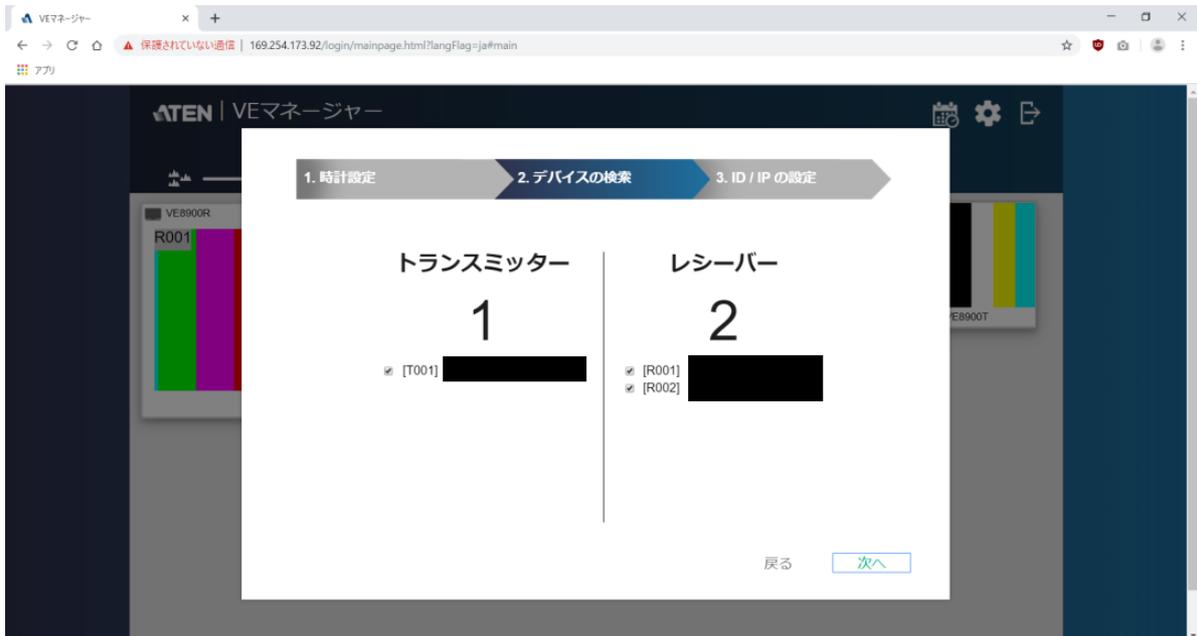
- ブラウザ画面右上の「」をクリックして本体設定画面に進みます
- 「メンテナンス」のタブから、接続をされている機器すべてのファームウェアバージョンが最新かどうかチェックします
  - 下図では、「v9.0.891.012」がバージョンの数値となります。この数字は開発バージョンとなるため、実際の数字とは異なります。



- 現在使用している機器のバージョンが、最新バージョンと同じ数字をご確認ください
- 古いバージョンがある場合は、すべて最新バージョンに更新して統一してください
- VE89xxではバージョンの異なる機器が混在した場合、映像表示ができない、接続に失敗するなどの一時的な不具合の原因となるためご注意ください。
  - **2021年4月現在、VE89xxは機器のバージョンの数字がすべて同じ時に動作することを前提に設計されています。**
  - Webページの公開タイミングなどで、現在製品ページで公開されているバージョンよりも新しいバージョンが製品内に入っているケースがございます。使用するものすべてが同じバージョンであればそのままお使いいただいても問題ございません。
  - ファームウェアのアップグレードは製品マニュアル内「Maintenance」以下の記事を参照のもと、更新してください。更新が完了すると対象のユニットは自動的に再起動します。
    - ファームウェアは製品ページの「サポートとダウンロード」から会員登録不要、無償でダウンロードできます
      - <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelNo/VE8900R>
      - <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelNo/VE8900T>
      - <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelNo/VE8950R>
      - <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelNo/VE8950T>
      - <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelNo/VE8952R>
      - <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelNo/VE8952T>

# ネットワークでのペアリング設定

- すべてのバージョンを統一したら、一度ログアウトしてから再度ログインしてください。
- この時、再度ログインするのは同じユニット、違うユニットでも構いません。
- ログイン直後に表示される、時刻同期を設定してください。
  - VE89xxTには、バッテリーが内蔵されています。電源OFF時にも時刻は保持していますが、約1年程度電源を入れないと、内蔵バッテリーは完全放電し、時刻を保持できなくなります。この場合はお客様での修理は行わず、弊社修理サービスをご利用ください。
- 時刻同期を設定したら機器のペアリングをします。



- VE89xxがすべてリスト内にあるかご確認ください
  - 表示されていない場合は機器がオフラインか、認識されていません。IPinstallerを使用してIPアドレスの設定が正しいかご確認ください
  - サブネットマスクも一致しているかも合わせてご確認ください
- 黒塗り部分は、VE89xxのmacアドレスが表示されています
- 「次へ」をクリックします

1. 時計設定

2. デバイスの検索

3. ID / IP の設定

IP 設定 : 自動

トランスミッター

T001 --> T001 自動IP

レシーバー

R001 --> R001 自動IP  
R002 --> R002 自動IP

戻る

完了

- 本体の7セグLEDで表示される本体ID番号を設定します
- ID番号を変えるには、IP設定をプルダウンで「手動」に変更し赤枠をクリックして、キーボードで数字を入力して[enter]キーを押してください
- ブラウザーで表示されている番号「T001」などは前の画面でリストされていたmacアドレスの本体の番号となります。
- 「完了」ボタンを押すと、設定を反映させるためにすべてのVE89xxが再起動します。
- IPアドレスは随時変更できますが、ブラウザーからのID番号変更はこのペアリングでのみ受け付けます。
  - ID番号を再変更するには再度ペアリングをしてください。

## ペアリングとは

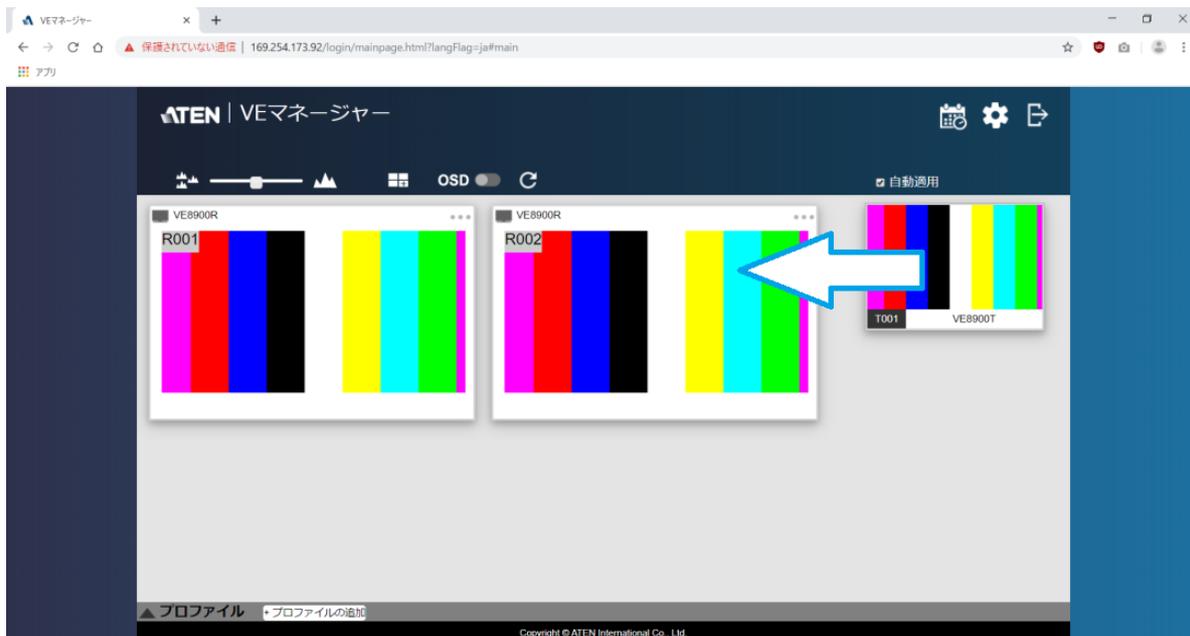
- 1つのネットワークにあるVE89xxの本体設定すべて、各本体に保持させることです。一度ペアリングに成功すると、設定を変更すると即座に他の機器へ設定を反映できます。ペアリングせずに映像表示はできますが、設定が他のデバイスで同期されないため、各端末によって設定情報が異なる、接続状況が一致しないなどの原因となります。

## 各種機能設定

- 再起動が完了すれば、これでVE89xxの基本セットアップは完了します。主に以下の項目をご確認ください。また、詳細機能については製品マニュアルをご参照ください

## 送受信機間の接続設定

- 右側のVE89xxTのプレビュー画面をマウスで、左のVE89xxRのプレビュー画面へドラッグアンドドロップするとそのまま画面の切り替えができます



- 画面右上にある「自動適用」のチェックが外れているとドラッグアンドドロップで即座に切り替えは行われません。ドラッグアンドドロップで操作した後に「適用」ボタンを押すと切り替えができます。一括して変更する時にご利用ください。
  - VE8950Tの4K映像をVE8900Rへのスケーリング表示はできません。VE8950Rへ接続してください

## モニター左上のメニュー画面(OSD)の表示設定

- VE89xxRに接続している液晶モニターで切り替え時などに表示される画面表示は「システム設定>一般」の「OSDポップアップ」をOFFにすると表示しなくなります
  - ログイン後の画面にある「**OSD**

## ボタン操作ロック機能

- VE89xx本体のボタンを誤操作などで変更されたくない場合は自動キーロック機能を有効にしてください
- ロック解除はVE89xx本体のマイナスボタンを3秒長押しで解除され、一定時間経過後に再度自動でロックが掛かります
  - ロック中はボタン押下時に本体7セグ部で「-35」と表示されます

## EDIDモード変更

- 特定のモニターによっては、VE89xxの初期設定(Default)では表示できない場合、「リミックス」や「手動」によって表示できる場合がございます。
  - 「リミックス」を選択した場合、VE89xxTがEDID取得/反映のために本体が再起動することがございます。
  - 「リミックス」を選択した場合、同時に起動する構成の場合、タイミングによっては同じモニターからのEDIDが取得できないため、利用できる解像度が変わることもございます。同じ設定で利用を続けたい場合は、1.モニター 2.VE89xxR、3.VE89xxTの順番で起動させてください

## 画質変更

- 本体はコンテンツを自動的に判断できる「自動」に工場出荷設定されています。用途に合わせて画質を選択してください。
  - 高精細な静止画など常時表示する場合は「高画質」
  - 動画などの追従性・反応性を優先される場合は「スムーズ」
- 構成されるスイッチのパフォーマンスによってカクつきがある場合は、「スムーズ」を選択することでLAN内の転送データを圧縮するため、改善されることがございます
- 4K映像では、高精細な映像を表示した時のカクつきが発生しやすいため「スムーズ」を選択してご利用ください

## 高速切替

- 有効にした場合、接続先を変えた時に黒画面を表示させない機能です。実際にはレシーバー内蔵のスケーラーが動作しており、映像信号が変換されますが、対応するモニターが限られていることから標準で無効に設定されています。

## USBのビデオパス

- VE89xxはUSBの伝送に対応しております。
  - キーボードやマウス、USBメモリやタッチパネルなどにご利用いただけます。
  - オーディオインターフェースやマイクなどアイソクロナス転送を必須とするデバイスには対応していません
    - 同様に高速なデータ転送を必要とするwebカメラやストレージ用途にはご利用いただけません
- 接続先を切り替えるごとにUSB接続も切り替える場合は「ビデオパスの追跡」を選択してください
- 接続先を切り替えてもUSB接続を固定にしたい場合は、手動で任意のVE89xxTを選択してください
- USB接続を無効にしたい場合は手動の「N/A」を選択してください

# 増設・復旧(機器交換)をする手順

## VE89xxを増設する場合

- 増設するVE89xx本体をネットワークには接続せずに起動し、重複しないID番号を設定してください
- 固定IPアドレスを使用している場合は、増設する本体に新規のIPアドレスを付与してください
- 設定後、既設のネットワークに接続して切り替え、表示ができるかお試しください
  - 表示ができたなら、PCなどからすでに稼働しているVE89xxにログインしてください
    - メニュー画面の「システム設定>メンテナンス」から「すべて同期」のボタンをそして増設したデバイスに設定を複製したら完了です。
- 本体ボタンで接続を変えても映像が映らない場合は、以下の方法で機器を同期させてください
  - 当セットアップガイド「ネットワークからのログイン」を参照し、増設した機器が同じネットワーク内にあるかご確認ください
  - デバイス自体が認識できていれば、本体バージョンが一致しているかご確認ください
    - 統一されていない場合は最新版へアップグレードしてください。
  - デバイスが認識され、バージョンも同じ場合であれば、もう一度機器すべてをペアリングしてください。

## ビデオウォール利用環境の場合

- VE89xxでビデオウォールを構築している場合は、「メンテナンス>バックアップ」から設定のバックアップファイルを作成してください。ペアリングができていない場合、設定の違いが発生しているおそれがあるため、ログインしたデバイスの設定を確認した上でダウンロードしてください
  - システム設定画面右上にある「」をクリックすると、ペアリングのウィザード画面が表示されます。このウィザードに従い、再度ペアリングするデバイスが、ウィザード内のリストに含まれているかご確認ください。
  - ウィザードを完了させると本体は再起動すると、設定は完了です。
  - ペアリング後、再度任意のデバイスにログインし、ダウンロードしたファイルをインポートします。ダウンロードと同じページより、バックアップしたファイルをインポートさせてください。
  - レストアを完了したら、「すべて同期」のボタンを押してネットワークに接続されているVE89xxすべてにデータを複製します。台数やトポロジによって失敗するケースがありますが、再度ボタンを押して「成功」と表示されたら完了です。
  - もし、バックアップファイルを読み込ませると成功しない場合は、FAQにある「本体初期化」を元に各デバイスを初期化してから、ペアリングを行ってください。そして、新規でビデオウォールを構築してください。

## VE89xxを交換する場合

- 交換前のVE89xx本体のIDを確認してください
- 交換品のデバイスを一度起動し、交換前のIDをボタン操作で合わせます
  - 固定IPアドレスを使用している場合は、増設する本体に新規のIPアドレスを付与してください
    - ネットワークスイッチによっては交換するVE89xxのIPアドレスが交換前のものと同じだと、障害が起きる可能性があります。再起動ができない場合は別のIPアドレスを付与してください
      - IPアドレスを統一させたい場合は、一度任意のIPアドレスに設定してください
      - その後、ペアリングでIPアドレスを一括で設定し直してください
  - 設定後、既設のネットワークに接続して切り替え、表示ができるかお試しください
    - 表示ができたら、PCなどからすでに稼働しているVE89xxにログインしてください
      - メニュー画面の「システム設定>メンテナンス」から「すべて同期」のボタンをそして増設したデバイスに設定を複製したら完了です。
  - 本体ボタンで接続を変えても映像が映らない場合は、以下の方法で機器を同期させてください
    - 当セットアップガイド「ネットワークからのログイン」を参照し、増設した機器が同じネットワーク内にあるかご確認ください
    - デバイス自体が認識できていれば、本体バージョンが一致しているかご確認ください
      - 統一されていない場合は最新版へアップグレードしてください。
    - デバイスが認識され、バージョンも同じ場合であれば、もう一度機器すべてをペアリングしてください。

## ES0152と組み合わせて使用する場合の設定

---

- ES0152/ES0152PはVE89xxに使うためのネットワーク設定がほぼ完了している製品です。しかしES0152/ES0152PはKEシリーズ向けに最適化されたデバイスのため、以下の制限のため設定が必要です。

### DMS(Device Management Service)機能を使用する

- DMS機能は、192.168.0.xxx/255.255.255.0の中に登録されたデバイスのみ管理ができません。そのため、DMS機能を利用する場合は、VE89xxのIPアドレスをすべて固定IPアドレス設定192.168.0.xxx/255.255.255.0にしてご利用ください

# FAQ

---

## 簡単にブラウザでVE89xxにアクセスしたい / VE89xxのIPアドレスを忘れた

---

- Chrome用拡張機能「Find My VE」をご利用ください。同じセグメント内のVE89xxを自動的に検出してアクセスできます。インストール方法は以下動画をご参照ください。
- IPアドレスの確認だけしたいのであれば、「IPInstaller」をご利用ください
- <https://www.youtube.com/watch?v=WjnCTZsmk9M>

## LANケーブルはどのようなケーブルで通信を確認しているか

---

- 弊社では、Cat5e/UTPケーブルにて「TIA/EIA 568-B」によるストレート結線のケーブルを使用して動作を確認しています。また、弊社ではCat5e/UTP、Cat6/STPケーブルの取り扱いがございます。詳細は弊社営業までお問い合わせください

## STPケーブルを使用する上で注意する点はあるか

---

- 接地(アース接続)を必ず行ってください。接地せずにSTPケーブルのみを使用した場合はケーブルからノイズを誘発し、接続する機器のパフォーマンス劣化や誤動作を起こす原因となることがございます

## Cat7ケーブルは対応しているか

---

- 物理的に接続可能と思われませんが、以下の点で推奨しておりません
  - 「Cat7のケーブル+RJ-45のコネクタ」のケーブルはTIA/EIA規格外品となります
  - VE89xxのRJ45コネクタはCat7に規格対応したTERA/GG45コネクタに対して性能保持したパーツではないため、パフォーマンスを発揮できないおそれがございます

## ネットワーク上で、デバイスが認識されない

---

- LANケーブルがしっかりと接続されているかご確認ください
  - カスケード接続の場合、VE89xxTまたは親の段に接続するケーブルはLAN1、カスケード接続の子供の段へのケーブルは「LAN2」に接続してください
  - またIGMPクエリア機能で一般的な更新周期が125秒です。その周期で更新され表示できるかご確認ください
- 電源を再度抜き差しして、デバイスを再起動させてください
  - 電源投入から起動完了までに約2分程度かかります。
- ネットワーク機器が介在している場合、すでに認識ができていないデバイスと本体のみを交換して通信ができるかご確認ください。通信できる場合、ネットワーク機器側の設定やコネクタなどご確認ください
- PCとストレート配線のLANケーブルでデバイスと接続しIPInstallerからデバイスが認識できるか確認してください

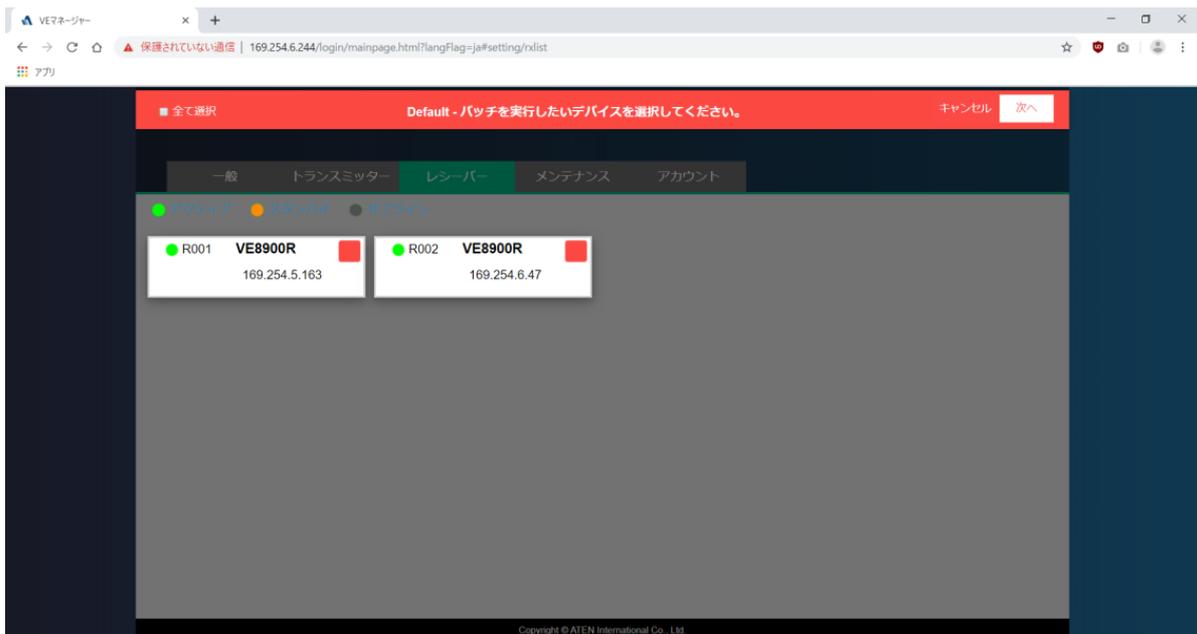
- どの機器と接続してもネットワークから認識ができていない場合、本体故障のおそれがございます。その場合は弊社サポートまでお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

## ブラウザのプレビュー画面がずれる

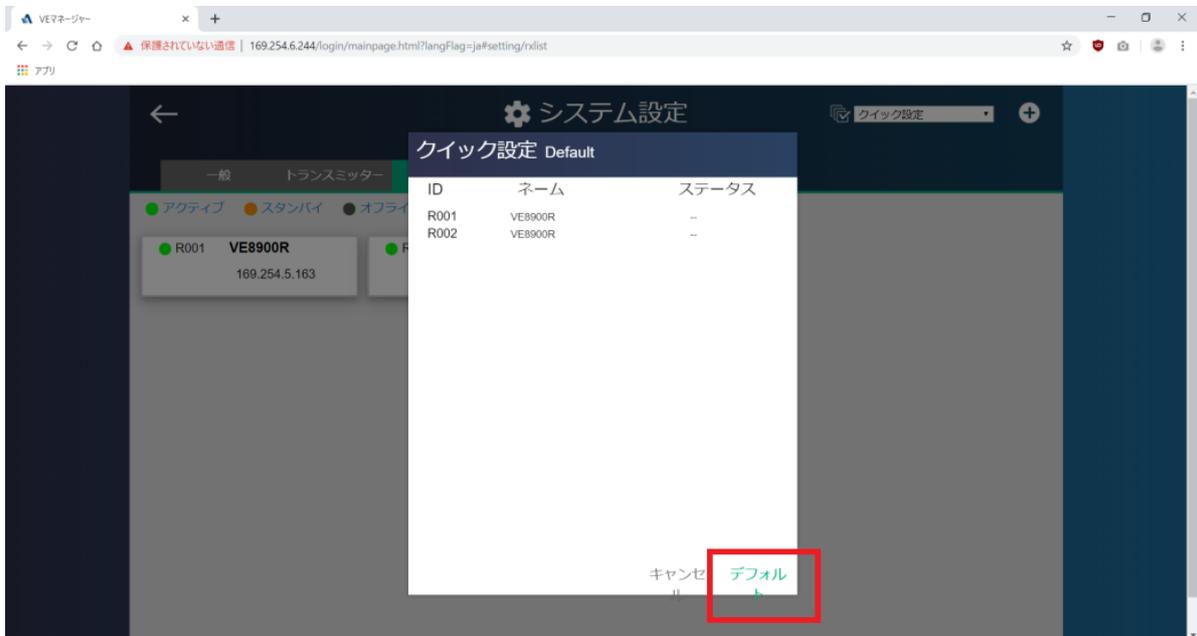
- 表示する映像やフォーマット、VE89xxT内キャプチャーデータが圧縮などによって縦横のずれることを確認しています。レシーバーに接続しているモニター表示への影響はございませんため、ご容赦いただきますようお願い申し上げます。
  - 具体的にはインターレース映像はプレビューでは解像度を正しく認識できないことを確認しております

## 本体初期化の方法

- 本体を初期化する場合は、以下の方法で行ってください
- 任意のデバイスにログイン後、「システム設定>トランスミッター」または「システム設定>レシーバー」タブに進んでください。
- 画面右上にある「クイック設定」のプルダウンメニューから「デフォルト」を選択してください。



- デバイスがすべて羅列されていることを確認したら各デバイスの欄の右上にある赤い四角、または画面左上にある「すべて選択」をクリックして、画面右上の「次へ」をクリックします。



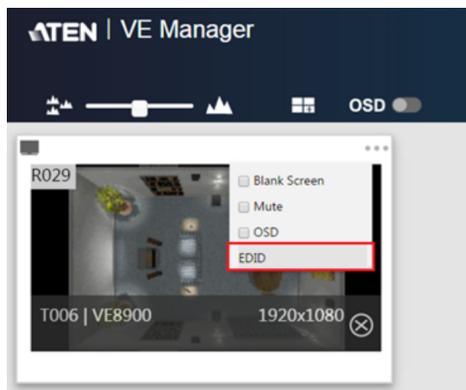
- リストに選択したデバイスの数を確認して、一致していれば「デフォルト」のボタンを押して、初期ができます。
- トランスミッター、レシーバーの各項目を実施することで、ネットワーク内のデバイスはすべて初期化されます。その後必要に応じて当ガイドの「ネットワークでのペアリング設定」を参照の上、ペアリングをしてください。

## タッチパネルを5台以上認識できない

- VE89xxTは、1台あたり最大で4つの論理USBデバイスを認識できます
- そのため、使用方法としては「1台のPCを4つのレシーバーに分配しつつ、タッチパネルで操作する」という方法も可能です
- 認識できるのは「論理USBデバイスが4台」までとなります。タッチパネルデバイスにUSBハブキーボードカードリーダーがあった場合は、それらもデバイスとしてカウントされません。
  - 例としてタッチパネル1台に4つのUSBデバイスが内蔵されていた場合には、タッチパネル1台しか利用できません

## 特定のモニターが「Out of Range」と表示される

- モニターが1920x1080などの解像度に対応しているにもかかわらず表示できない場合は、次の設定で表示できるかお試しください
  - トランスミッターのEDID設定で「リミックス」または「手動」を選択する
    - 「手動」を設定した場合は次の通りに設定します
      - レシーバーの接続先を選択する
      - ブラウザーの管理トップ画面から画面表示ができないレシーバーの右上にあるメニューから「EDID」をクリックする

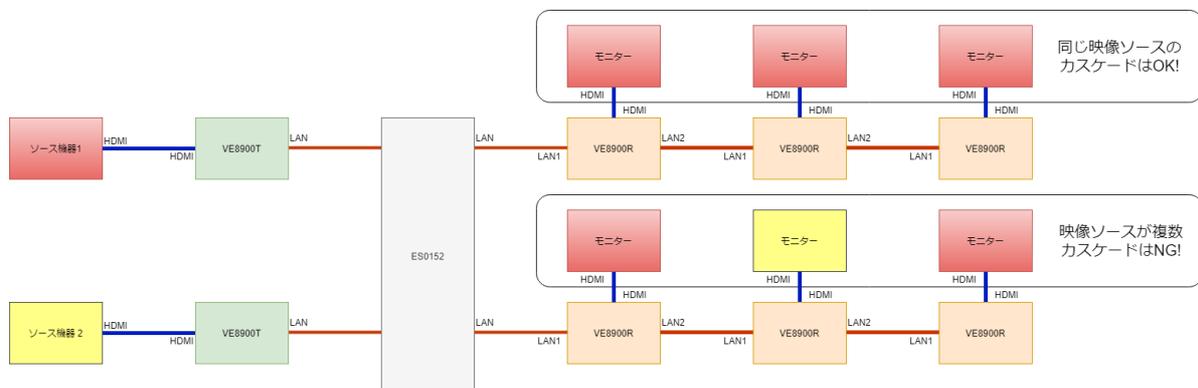


- EDID(解像度情報)で互換性がない場合はこの方法で解決できますが、「リミックス」などでも同様に表示できない場合は、次の設定を試みてください
  - 画面が表示できないレシーバーのプロパティを開く
  - 「高速切替」の項目で、1920x1080など任意の解像度を選択し、「保存」をクリックする



## 利用できない接続方法

- レシーバー同士でカスケード接続している場合、カスケード接続しているレシーバーは1つの同じ映像ソースを選択してください
- カスケード接続で、違う映像ソースを混ぜて選択しないでください
  - データ転送が間に合わず、コマ落ちや表示不具合や機器再起動の原因となります。
- レシーバーで自由に映像ソースを選択させて利用する場合は、ネットワークスイッチを利用したスター型トポロジーで接続してください



## その他FAQについて

---

- 弊社技術サポートサイト「eSupport」ではオンラインのFAQを随時、更新しております。  
[https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/list.do?lang=ja\\_JP&keyword=VE8900T&flag=Y](https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/list.do?lang=ja_JP&keyword=VE8900T&flag=Y)
- 当ガイドブックには収録されていない応用的な情報もあるため、こちらも合わせてご参照ください。